

中嶋隆氏のハードな講義に人気

学生記者

古賀清人(理工学部3年)

理工学部の学生団体である「中大を元気にする会!!」が主催する

「理系学生のためのビジネス勉強会」が昨年から月に一度のペースで行われている。

講師は中嶋経営科学研究所所長の中嶋隆氏。

「——元気にする会!!」の意欲に応えて始まった異色の公開講座(無料)である。

4月16日——この日、第5回の

テーマは「企業経営とIT」。電通

国際情報サービスの清水達担当部長

(製造システム事業部PLM技術部)

をゲスト講師に招いて行われた。I

T業界の現状やIT業界からみた期

待する人材像に触れた講演のあと、

企業経営との関連でITの意味づけ

などについて中嶋所長のレクチャー

がつづいた。

理工学部新3号館1階の教室には

学生、院生ら受講生27人。これは少

ないほうで、多いときは50人もの参

加者で満員の盛況だという。

「中大卒にこんな人が……」
「元気会の熱意にほだされて」

中嶋所長によれば、講座のきつか

けはこんな出会いだっただけ。「元

気会の代表の小清水克君が、ある学

生団体のイベントに参加していてそ

こに偶然私もいたんです。私のプロ

フィールに興味を持ったようでした

かけてきたんですよ」

中嶋氏は中央大学商学部卒。在学

中に国立ソウル大学留学。多くの企

業経験も生かして、中嶋経営科学研

究所を創設、企業関係者のセミナー

などで活躍している。中央大学研究

開発機構客員研究員でもある。

小清水さんが言う。「ええ、最初

の興味はそこでした。同じ中大出身

でこんな面白い方がいるんだと思っ

て。そこから色々お話ししているうち

に僕たちの主催する『元気会』の話

をしたんです。会のコンセプトをお

話したら共感してくださって、ダメ

モトで講演会をお願いしたら引き

受けてくださいました」

中嶋所長は「早稲田とか法政なら

引き受けないけど、中大だし、しか

も小清水くんの熱意がすごかったか

らね」と笑う。

02年秋、「中大の虎」と題して講演会が開かれた。

「大盛況だったんです。就職活動を控えた3年生の学生たちからも好評を得まして」(小清水さん)

「最初の講演会は1昨年かあ。もうそんなに経つんだね。それで次の年にもう一度やったんだよね(「中大の虎・弐」)。これも好評だったんです。打ち上げの席で『せっかくやるなら定期的に徹底的にやろう』という話をしたんですよ(中嶋所長)

昨12月から1開催
実用&専門性兼ねて

こうして、「理系学生のためのビジネス勉強会」は昨年12月19日開催した。月に1回、連続12回の連続講座である。各回のテーマをながめてみよう。

①就職のための必勝カバーレター講座

②就職のための必勝プレゼンター

シヨン講座

③ビジネスエリート情報収集方法

④21世紀の企業環境と学内起業

そして、冒頭の第5回をはさんで、

⑥(5月) 企業経営と知的財産権

⑦(6月) 企業経営と企業人教育

が行われ、以降、

⑧地域経済と国家経営

⑨国家経営力分析

……

⑫アジアベンチマーキングの国家経営分析

と並んでいる。実用性を兼ねつつ、

本格的なものである。一面ハードと

も思えるくらい。

実際、「次回はこれを読んでくる

こと」と、インターネットサイトに

掲載論文を指定されることも多い。

また、清水部長のよう

に関係分野の第一線に

あるゲスト講師にも特

色がある。

「卒業後に出会う

上司がどういうことを

考え、行動しているか

を知って欲しい。入社

して10年間で大事だか

ら」という。

当の清水部長は「中

嶋先生にお願いされて

断りきれなくて来たん

ですよ(笑)。それは

冗談ですが、講義中は

みなさんまじめに聞いてくれて熱

意が伝わってきました。中大には意

識の高い学生がいるんだと思いまし

た」と話した。

中嶋所長はこう語る。「講義内容

は私が講演会などで一般企業の役

員・社長さんに対して話しているの

と同じレベルです。だから、話の途

中でも分からないことがあれば質問

に答えるようにしています。講義を

通じて、学生が卒業して社会に出た

ときにすぐに活躍できる力を身につ

けて欲しいですね」

毎月第3金曜日夜7時―9時に開

催。夜9時すぎ、講義の終わった教

室で、参加者の話を聞いてみた。「中

嶋さんと毎回のゲストの方々、さ

まざま分野の高い内容の話をして

くれる。自分たちの現在の実力と、

これから達成すべき目標までの距離

を測り、どのように行動すべきかを

気づかせてくれる」と、これは大学

院生の平林思間さん。ほぼ共通する

意見のようだ。

中大のOBネットで「元気に」

そもそも『元氣会』のコンセプト

である『元氣』を、みなさんどう受

け止めていらっしゃるだろうか。そ

んな質問を試してみた。

中嶋所長「学生の未来を見ると輝

きがみえるんです。その輝く未来こ

そが私にとっての元氣ですね。20年

30年後の輝く未来の手伝いをしたい

です」

清水部長「元氣とは『夢』ですね。

自分の将来に夢を持って皆さんに社

会に出て欲しいですね」

締めくくりは、『元氣会』代表の

小清水さん。

「うちの大学ってすごいんですよ。

OB・OGにもすごい人はいるし、

それをみんなに自慢したいんです。

みんなに知って欲しい。そうしてう

ちの大学がもっと元氣になればいい

など。たくさんの方がお互いを認知

して、もっといい大学になっていけ

ば、それが『元氣』ですね」



前列右から、中嶋所長、小清水さん、清水部長